

江別市地域公共交通計画 ＜新旧対照表＞

旧		新（令和8年6月変更）		
■計画書74頁		■計画書74頁		
4.3 地域公共交通確保維持事業の必要性		4.3 地域公共交通確保維持事業の必要性		
4.3.1 地域公共交通確保維持事業に係る補助系統の位置づけ及び役割 (本文省略)		4.3.1 地域公共交通確保維持事業に係る補助系統の位置づけ及び役割 (本文省略)		
表4-2 地域公共交通確保維持事業における補助系統の位置づけ		表4-2 地域公共交通確保維持事業における補助系統の位置づけ		
位置づけ	路線名	系統名	役割	確保・維持策
支線	野幌 見晴台線	A	まちづくりの顔であり、交通結節点であるJR野幌駅と市街地北部の住宅地である新栄台、見晴台方面を結ぶ路線であり、タ張鉄道株式会社が運行する地域間幹線系統と接続しています。 通勤、通学の足として利用されているほか、JR野幌駅周辺の商業施設への買い物や医療機関への通院など、多様なニーズに対応しています。	運行の効率化を図りながら、利便性向上策や利用促進を行い、持続可能な運行を目指す ※地域公共交通確保維持事業（地域内フィードバック補助・ <u>車両減価償却費等補助</u> ）を活用
		B		
		C		
		D		

※変更箇所：赤字アンダーライン

江別市地域公共交通計画

<新旧対照表>

旧					新（令和8年6月変更）				
■計画書75頁					■計画書75頁				
4.3.3 地域公共交通確保維持事業に係る事業実施主体 （本文省略）					4.3.3 地域公共交通確保維持事業に係る事業実施主体 （本文省略）				
表4-3 地域公共交通確保維持事業における補助系統の位置づけ					表4-3 地域公共交通確保維持事業における補助系統の位置づけ				
路線名	系統名	起点	経由地	終点	事業許可	運行形態	実施主体	補助事業の活用	
野幌 見晴台線	A	野幌駅北口	錦町先回り・ 5丁目通	野幌駅北口	4条乗合	路線定期 運行	北海道 中央バス㈱	地域内フィーター補助	
	A	新栄台	錦町先回り・ 5丁目通	野幌駅北口					
	B	野幌駅北口	錦町先回り・ いずみ野	野幌駅北口					
	B	野幌駅北口	錦町先回り・ いずみ野	4番通6丁目					
	C	野幌駅北口	湯川公園先回り・ 5丁目通	野幌駅北口					
	C	野幌駅北口	湯川公園先回り・ 5丁目通	中央中学校南					
	D	野幌駅北口	湯川公園先回り・ いずみ野	野幌駅北口					
	D	いずみ野 4丁目通	湯川公園先回り・ いずみ野	野幌駅北口					
					北海道 中央バス㈱ 地域内フィーター補助 (R3.3月まで)				
					4条乗合 路面減価償却費等補助 (R4.4月から)				

4.3 地域公共交通確保維持事業の必要性

4.3.1 地域公共交通確保維持事業に係る補助系統の位置づけ及び役割

江別市の路線バスは、北海道中央バス株式会社、ジェイ・アール北海道バス株式会社、夕張鉄道株式会社の3社により運行され、市民生活を支えています。

このうち、北海道中央バス株式会社が運行する江別2番通線は、江別市生活バス路線運行費補助金により、欠損補助を行っています。また、夕張鉄道株式会社が運行する札幌代行線（南幌）、札幌代行線（栗山）及び新札夕線は、地域公共交通確保維持事業（地域間幹線系統補助）を活用し、国と北海道による欠損補助を受け運行を行っているなど、江別市で運行されている路線バスの収支は、厳しい状況です（令和4年度現在）。

本計画において、地域公共交通確保維持事業により、運行を確保・維持する運行系統の江別市における位置づけ及び役割を以下に整理します。

表 4-2 地域公共交通確保維持事業における補助系統の位置づけ

位置づけ	路線名	系統名	役割	確保・維持策
支線	野幌 見晴台線	A	まちづくりの顔であり、交通結節点であるJR野幌駅と市街地北部の住宅地である新栄台、見晴台方面を結ぶ路線であり、夕張鉄道株式会社が運行する地域間幹線系統と接続しています。 通勤、通学の足として利用されているほか、JR野幌駅周辺の商業施設への買い物や医療機関への通院など、多様なニーズに対応しています。	運行の効率化を図りながら、利便性向上策や利用促進を行い、持続可能な運行を目指す ※地域公共交通確保維持事業（地域内フィーダー補助・ <u>車両減価償却費等補助</u> ）を活用
		B		
		C		
		D		

4.3.2 地域公共交通確保維持事業の必要性

野幌見晴台線は、まちづくりの顔であり、交通結節点であるJR野幌駅と市街地北部の住宅地である新栄台、見晴台方面を結ぶ路線であり、夕張鉄道株式会社が運行する地域間幹線系統と接続しています。地域間幹線系統やJR野幌駅での鉄道への乗り継ぎにより、札幌都心部への通勤や沿線の高校、大学等の教育機関への通学、買い物や通院など、様々な目的で利用されており、広域交通フィーダー系統として重要な役割を担っています。

また、JR野幌駅周辺は、イオン江別店を始めとする大型商業施設や野幌病院等の医療機関が集積している市の中心市街地であり、買い物や通院など、市民の多様な日常生活のニーズに対応しているバス路線です。

しかしながら、野幌見晴台線は、令和3年度においても赤字運行となっており、事業者の運営努力だけでは路線の維持が困難な状況であることから、地域公共交通確保維持事業により、運行を確保・維持する必要があります。

4.3.3 地域公共交通確保維持事業に係る事業実施主体

地域公共交通確保維持事業により、運行を確保・維持する必要がある野幌見晴台線について、事業実施主体を以下に整理します。

表 4-3 地域公共交通確保維持事業に係る事業実施主体

路線名	系統名	起点	経由地	終点	事業許可	運行形態	実施主体	補助事業の活用
野幌 見晴台線	A	野幌駅北口	錦町先回り・ 5丁目通	野幌駅北口	4条乗合	路線定期 運行	北海道 中央バス(株) <u>(R93月まで)</u> 夕張鉄道(株) <u>(R94月から)</u>	地域内フィ ーダー補助 <u>車両減価償 却費等補助</u>
	A	新栄台	錦町先回り・ 5丁目通	野幌駅北口				
	B	野幌駅北口	錦町先回り・ いずみ野	野幌駅北口				
	B	野幌駅北口	錦町先回り・ いずみ野	4番通6丁目				
	C	野幌駅北口	湯川公園先回り・ 5丁目通	野幌駅北口				
	C	野幌駅北口	湯川公園先回り・ 5丁目通	中央中学校南				
	D	野幌駅北口	湯川公園先回り・ いずみ野	野幌駅北口				
	D	いずみ野 4丁目通	湯川公園先回り・ いずみ野	野幌駅北口				